



2020年8月発行

号



特集「なばりのきらきらウーマン」

第2回 トマト農家 ^{きたしま ふうこ}北島 芙有子さん

名張できらきら輝く女性へのインタビュー企画・第2回目は、大玉トマト栽培に取り組む北島さん。物静かな雰囲気の中に、おいしいトマトを育てる追求心と芯の強さを感じました。トマト愛溢れるインタビューです。

[\(インタビューの内容はこちらです\)](#)

9月1日は「防災の日」です！

9月1日の「防災の日」を含む1週間（8月30日～9月5日）が「防災週間」と定められています。今月のつうしんは「防災」をテーマにお送りします。



今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、防災訓練も中止のところが多いと思います。災害はいつ起きるか分からないもの。もしもの時の備え、できていますか？

クイズを楽しみながら、防災を考えてみませんか。

(クイズの答えは枠外です)

編集協力：名張近鉄ガス株式会社

1 必ず備えておきたい簡易トイレ。
大人1人につき、1日何枚くらいの備蓄が必要？

- ① 1～3枚
- ② 4～8枚
- ③ 14～18枚



② 8～枚 【正解】

2 飲料水は1日1人最低何リットル必要？

- ① 500ミリリットル
- ② 2リットル
- ③ 10リットル



喉の渴きを感じたら、すでに「脱水」が始まっている証拠。そうなる前にすぐ水分が摂れるよう、飲料水も日ごろから備蓄しましょう！（備蓄には7日分の飲料水が必要になります）

③ 10リットル 【正解】

名張市男女共同参画センター

三重県名張市希央台5番町19番地
Navarie 2階名張市市民情報交流センター内

TEL0595-63-5336 FAX0595-63-5326

e-mail danjo-center@emachi-nabari.jp
https://www.emachi-nabari.jp/j-kouryu/

※4月1日よりHPアドレスが変わりました



「つうしん」
web版はコチラ

ご意見・ご感想をお聞かせください



防災クイズ

巻頭ページに引き続き、防災クイズです。何問正解しましたか？
家や職場などの備えはじゅうぶんか、見直してみましょう！

(クイズの答えは枠外です)

3 避難グッズを入れた「非常持ち出し袋」
は、どこに置いておくのがいい？

- ① 邪魔にならない【押し入れの奥】
- ② 非常食などの入れ替えが便利な【キッチン】
- ③ 逃げ出す時に持ち出しやすい【玄関】

解答 ㉓ 【㉓】

4 災害用伝言ダイヤルの番号は「171」だ



災害用伝言ダイヤルを利用することで、電話
がつながりにくい時に自分の「無事」を録音して
伝えたり、家族の「無事」を確かめたりできます。
また「災害用伝言サービス」では、災害用伝言
板などの利用もできます。平常時から確認してお
くといいですね。

○ 【㉔】

「防災訓練＋地域交流会」で、老若男女問わず、参加しやすい防災訓練へ

市内のある自治会の取組をご紹介します (2019年11月開催)

この日の防災訓練は、地域交流会も兼ねていて、さまざまな年齢の住民が参加しました。事前に参加の申し込みが必要でしたが、当日は班で誘い合って、集合場所の避難所へみんなで行きました。道中では、道や場所の「どこが危ないか？」確認しながら向かいます。「ここが危ないね」「こんなところも危ないんだね」住民同士で気づき合い確認し合うことで、いざ避難が必要な時の危険の回避につながります。

避難所では、防災クイズなどを通して、大人も子どもも楽しみながら防災を学びました。紙で食器を作ったり、「じゃがりこ」(じゃがいものお菓子)を使った、簡単に作れるポテトサラダの試食もしました。防災クイズでは、正解した人に景品を渡しました。景品は主に100円ショップで手に入る防災グッズなどを用意しました。また、防災訓練に参加できなかった住民の方へは後日、名張市指定のゴミ袋を配りました。

今回の地域交流会を兼ねた防災訓練では、年齢や家族構成を問わず、同じ課題について解決策を考えることができました！



【センタースタッフのひとこと】

防災訓練って必要なことだけど、なかなか参加しづらいな…と個人的に感じていました。でもクイズをしたり「楽しみながら」しっかり学べるなら、参加してみたいなと思いました。必要なことだからこそ、大人も子どもも楽しんで備えることは、とても意味があり大切なことだな～と感じました！

参加できなかった人へゴミ袋を配るなど、「取り残さない」工夫もいいですね。



【参考資料】防災に関連した情報のサイトとリンクです。防災クイズなどの参考にしました。

- ★ 地震 ITSUMO <http://www.jishin-itsumo.com/>
- ★ 大阪ガス「考える防災教室」 <https://www.osakagas.co.jp/company/efforts/bousai/booklet/>
- ★ 総務省「災害用伝言サービス」
https://www.soumu.go.jp/menu_seisaku/ictseisaku/net_anzen/hijyo/dengon.html
- ★ 内閣府「新型コロナウイルス感染症を踏まえた災害対応のポイント【第1版】について」
http://www.bousai.go.jp/pdf/covid19_tsuuchi.pdf

避難所運営は男性？ 炊き出しは女性？

～男女共同参画の視点に立った防災—平時から多様性の尊重が必要～

男性だったら誰でも避難所運営が得意でしょうか。女性だったら炊き出しが得意でしょうか。誰にでも得意・不得意がありますよね。「男性は避難所運営、女性は炊き出し」などといった固定的な役割分担で避難所運営を行うと、男性も女性も、どちらも疲弊してしまいます。性別で役割を分担するのではなく、その人の能力で役割を分担してはどうでしょう。

被災という緊急時にあっても、性別や年齢などにかかわらず、誰もが等しく尊重されることが大切です。しかし、平時（日常）にできていないことは緊急時にはできません。だからこそ、平時から多様性の尊重が必要です。

熊本地震の被災経験から学ぶ「男女共同参画の視点に立った防災」

熊本地震の教訓を踏まえて災害時の注意点をまとめた冊子を、熊本市男女共同参画センター「はあもにい」が作成しました。熊本地震の際、女性、男性、性的少数者、外国人、障害者、支援者などに何が起きたのか？ 多様な立場の人々の視点から、避難生活で直面した課題と解決策を例示しています。

PDF データが公開されています <http://harmony-mimoza.org/news/2019/12/book.html>



つうしん 104 号アンケート

つうしんを手にとっていただきありがとうございます。今後の編集のために、ご意見をお寄せください。ご回答いただいた方の中から抽選で図書カード 1000 円分を進呈いたします。下記①～⑤の必要事項をご記入のうえ、メール、ハガキ、または FAX でお送りください。(送料等はお負担ください)

- ① 記事の内容は参考になりましたか？ A. 参考になった B. 参考にならなかった
- ② A「参考になった」を選択された方にお尋ねします。どの記事が参考になりましたか？(複数回答可)
(あ) 特集「なばりのきらきらウーマン」 (い) 防災クイズ (う) ある自治会の防災訓練の取組紹介
(え) 男女共同参画視点に立った防災 (お) 相談日程
- ③ 興味のあるテーマ、今後読みたいと思うテーマはどれですか？(複数回答可)
(あ) 性の多様性 (い) 男性の育児休暇 (う) DV(性暴力) (え) SDGs (お) その他()
- ④ 特集「なばりのきらきらウーマン」についてご意見・ご感想をお聞かせください。
- ⑤ 104 号の記事全体について、ご意見・ご感想をお聞かせください。

★ お名前、年齢、住所、連絡先、つうしんの号数を明記の上、下記へお送りください。
応募締切は **10月9日** (必着) です。

<メール宛先> danjo-center@emachi-nabari.jp 「つうしん 104 号アンケート」
<郵送宛先> 〒518-0775 名張市希央台 5-19 名張市男女共同参画センター 宛
<FAX 宛先> 0595-63-5326



<メールQRコード>

※ ご記入いただいた個人情報はアンケート記念品の発送のみに使用し、当選発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

編集後記

今月のつうしんは「防災」がテーマということで、6月号の特集でもお世話になった、名張近鉄ガス株式会社の奥田春菜さんに協力していただきました。近鉄ガスでは「防災クッキング」や「考える防災教室」など、防災にも力を入れていらっしゃいます。

私も今月の記事を書きながら、改めて家の備蓄品や災害への備えを見直しました。備えているつもりでも、意外と足りないもの・見落としていることだらけ。家族と話し合っ



2020年

相談日程

名張市男女共同参画センター

9月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
			女性のための相談 9:00~12:00		女性弁護士 による法律相談 10:00~12:00 13:00~15:00 女性のための相談 13:00~16:00	
6	7	8	9	10	11	12
	休館日	人権相談 13:30~16:00	女性のための相談 9:00~12:00	男性のための相談 17:00~19:00	女性のための相談 13:00~16:00	
13	14	15	16	17	18	19
	休館日	人権相談 13:30~16:00	女性のための相談 9:00~12:00	メンタルヘルス相談 10:00~12:00	女性のための相談 13:00~16:00	
20	21	22	23	24	25	26
	休館日	メンタルヘルス相談 13:00~16:00	女性のための相談 9:00~12:00		女性のための相談 13:00~16:00	
27	28	29	30	●予約電話 63-5336		
	休館日		女性のための相談 9:00~12:00			

10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
		●予約電話 63-5336			女性弁護士 による法律相談 10:00~12:00 13:00~15:00 女性のための相談 13:00~16:00	
4	5	6	7	8	9	10
	休館日		女性のための相談 9:00~12:00	男性のための相談 17:00~19:00	女性のための相談 13:00~16:00	
11	12	13	14	15	16	17
	休館日	人権相談 10:00~15:00	女性のための相談 9:00~12:00	メンタルヘルス相談 10:00~12:00	女性のための相談 13:00~16:00	
18	19	20	21	22	23	24
	休館日	人権相談 13:30~16:00	女性のための相談 9:00~12:00		女性のための相談 13:00~16:00	
25	26	27	28	29	30	31
	休館日	メンタルヘルス相談 13:00~16:00	女性のための相談 9:00~12:00		女性のための相談 13:00~16:00	



女性のための相談

予約優先

電話相談可

毎週水曜日 9:00~12:00 ※祝日の場合は
毎週金曜日 13:00~16:00 お休みです

女性弁護士による法律相談

要予約

面談

毎月第1金曜日 10:00~12:00
13:00~15:00

男性のための相談

予約優先

電話相談可

毎月第2木曜日 17:00~19:00



メンタルヘルス相談(男女共)

要予約

面談

毎月第3木曜日 10:00~12:00
毎月第4火曜日 13:00~16:00

人権相談

要予約

面談

毎月2回 ※詳しくは、名張市人権センター(☎63-0018)へお問い合わせください

Special
interview

02

「男女共同参画」とは「自分らしくあること」ではないかと私たちは考えています。
男らしく、女らしく、ではなく、ありのまま生き生きと暮らす。
そんな風に「自分らしく」人生を歩んでいる地域の女性たちをご紹介します。

きた しま ふ う こ
北島 芙有子 さん

とまとの丘

profile

1993年大阪で生まれ育つ。自然や生き物が好きで、大学ではバイオサイエンスを専攻。学生時代のアルバイトをきっかけに農業の道へ。祖父母のいる名張に移住し、農作業に勤しむ日々を送っている。



自然が好き!トマトが好き!
その先にあった自分の道

お仕事のことを教えてください。

3年前に農家として独立し、短野にあるビニールハウスで大玉トマトを生産しています。「ふうこのとまと」という名前で地元のスーパーなどで販売しています。2年前からは冬の間、野菜の露地栽培を色々と試行錯誤しながら挑戦しています。

農業の道に進んだきっかけは？

大学生の時にいったトマト農園でのアルバイトがきっかけです。小さい頃から植物とか昆虫とか、生き物が好きで、よく父に虫取りに連れて行ってもらっていましたね。生物の授業が好きだったので、大学ではバイオサイエンスを専攻しました。自然に触れながら学びたいという気持ちがあったのですが、実際は授業

では実験や計算が多くて…やりたいことと実際の生活に差を感じていた時に出会ったアルバイトだったんです。自然の中でできる農業の楽しさを知って、生業にしたいと思うようになりました。

農業のどんなところに魅力を感じたのですか？

自分の作ったものを食べてもらって、美味しいって言ってもらえることって、本当に幸せなことやなあって感じたんです。小さい頃からトマトが好きなのですが、アルバイト先のトマトが本当に美味しくて!こんなトマト作りたくなって。

20代前半で就農、独立を決めた時、不安はなかったですか？

どこかに所属するという選択肢もあったのですが、自分でやってみたいという思いが強かったです。後先考えずに「やってみたいからやる!」という感じでした。不安とかはあまりなかったですね。基本的に楽観的な性格なので。悩んだりするけど、寝たら忘れま(笑)汚れても気にならなかったりと、おおざっぱなところがあるので農業をやっているのかなあと感じたりします。

独立して3年経った今、始めた頃に比べて変わったことは？

1年目は同じ時期にたくさん作りすぎて、出荷のピークが重なってしまいました。なので、翌年から収穫のピークを後にずらして生産するように工夫しました。短野は夜が涼しいということもあって、12月頃まで収穫できるように調整しています。「来年はこうしよう!」と年々試行錯誤しながらやっています。

これまでで、一番辛かったことは何ですか？

やっぱり1年目かな。そもそも売り先が確保できていなかったのにたくさん作りすぎてしまったので、収穫や手入れが追いつかず、トマトが熟しすぎて生で売れないものもでてきてしまいました。困っていたところに加工の話がでてきて、なんとか廃棄せずにすみました。色々な人の助けがあり、徐々に売り先も増え、今では栽培も出荷もスムーズにすることができるようになりました。



トマトの美味しい食べ方(レシピ)教えていただけますか？

どうでしょう…。いつも生でそのまま食べているので(笑)丸かじりが一番好きです!

今後、挑戦したいことや夢はありますか？

自分の手で加工品を作りたいです。なるべくロスの出ないように工夫して生産していますが、どうしても出荷できないものが出てきてしまうので。それらを使って、トマトだけで作ったピューレとかジュースをつくれたらいいなと思っています。今、好きなことを仕事にできているので、大切にし続けていきたいし、農業はこれからもずっと続けていきたいと思っています。海外にも興味があって、オーストラリアやニュージーランドの農場にも行ってみたいです!

休日の楽しみはライブに行くこと!
ロックが好きで、ロックを聞きながら畑作業しています!



* 見つけた「彼女らしさ」 *

小さい頃から好きだった自然や生き物。大人になってもその思いはぶれることなく、自分の想いに忠実に歩み続け見つけたもの。それが農業でした。自然に囲まれた場所で、丹精込めてトマトを育てている彼女は、とても自然体で生き生きしています。好きなことにひたむきに歩み続ける、そんな芯の強さこそが北島さん「らしさ」だと感じました。